

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス仁		2026年 2月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。		○	教材の使用までには至っていない	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切である	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○		職員全員が参画している	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	○			1 2 月から開始しているため、把握する機会ま では至っていない
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○		朝礼などで意見(新規事業 相談 業務内容)を 聞く時間を設け全員で検討している その内容により個別に対応を行っている	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		○		第三者評価を受診予定
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○		確保している	研修参加職員の補充が難しい
適切 な支 援の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○		職員全員が参画している	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員が参画している	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		担当者会(担任 相談支援事業所 巡回指導員 等)をに参加し、連携を図っている	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		行っている	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○		確認している	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○		基準通り実施	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。			上記11の項目と同様	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	○		行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員間はもちろんの事、訪問先を含め振り返り を行っている	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○		行っている	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○		記録に残し、朝礼で情報共有を行っている	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	○		行っている	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		行っている	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	△		地域の児童発達支援センターと連絡を密にしている	医療関係との連携と協働に関しては、今後の課題が残る部分がある
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	放課後等デイサービス開所2年目であり、就学に関する支援の実績がない	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		積極的に外部研修を受講を進めている	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		参加している	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	△		保護者による	・送迎希望者が多く、こどもの様子を伝える時間が足りない ・レスパイト的な利用をされている保護者に関しては、こどもの状況が伝わりにくい
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	△		家族や地域交流のプログラムは用意しているが参加率が少ない	・ペアレントトレーニングやきょうだい児支援は行っていない ・勤務の関係上、土日のプログラム開催が難しく、保護者の参加率を上げにくい
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		行っている	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		行っている	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		設けている	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		得ている	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。		△		・定期的には行っていない(その都度実施)の で、参観日等を活用し計画していく ※魅力ある参観日の実施
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・父母会を組織していきたい ・きょうだい児支援プログラムを検討する
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に対応している	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・不定期であるが、「たより」を配布している ・HPIにこども用のページを作成している	
訪問先施設への説明等	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報保護規程を策定している ・個人情報の取り扱いについて保護者の同意を得ている ・職員に対して、誓約書を取っている	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵カードや動画による説明を行っている ・分かりやすい文章を作成している ・HPIにこども用のページを作成している	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		行っている	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		行っている	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問後に保護者へ連絡し支援内容を伝えた後、支援内容を記録し保護者にさらに詳しく伝えている	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		上記【35】と同様	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		行っている	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		△	避難訓練を行っている(災害 不審者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルについて、保護者への周知までには至っていない</li> <li>・感染症に対する訓練の実施はしていない</li> </ul>
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		行っている	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットマニュアルを策定している</li> <li>・ヒヤリハットの事例検討も行っている</li> </ul>	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部、外部研修を受講している</li> <li>・虐待チェックリストの活用と検証を行っている</li> </ul>	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	・身体拘束の指針を策定している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもや保護者へ周知を行う</li> <li>・個別支援計画に明記する</li> </ul>